

令和7年度消防団員特別教育『一日入校』訓練実施計画

1 目的

消防団員に必要な知識、技術を修得させる。

2 入校資格

消防団長が指名する消防団員

3 入校の申し込み

入校を希望する消防団は、入校希望日を第3希望まで記入し、令和7年2月14日（金）までに、消防団員特別教育『一日入校』入校希望調査書（別紙様式5）を学校長に提出すること。

なお、希望調査において同一日に多数の希望があった場合は、入校できないことがある。

また、入校消防団員数は、一日につき50名程度（2消防団まで）とする。

※1 入校決定は、別途通知する。

※2 消防学校の教育訓練や行事等の都合により、入校決定した日を変更する場合がある。

4 入校可能日

- ①令和7年 11月 30日（日）
- ② 12月 7日（日）
- ③ 12月 14日（日） 計3回

5 場所

広島県消防学校（〒739-1743 広島市安佐北区倉掛二丁目33-2）

6 訓練時間等

原則として、次の日課時限表により進行する。

9:00～	開校・スケジュール説明
9:20～	訓練（小休憩あり）
12:00～	昼食・休憩
13:00～	訓練（小休憩あり）
16:00	閉校

* 入校受付は、8時30分から正面玄関で行う。

* 訓練は、原則、雨天でも実施する。

* 訓練は、消防団ごとの部隊単位で実施する。

7 訓練教育項目

訓練項目	訓練形態	到達目標	時間
火災防ぎよ	座学及び実科	<ul style="list-style-type: none">○ 火災現場での安全管理について理解する。○ 火災防ぎよについて、指揮者の指示に基づき確実・迅速に行動できる。○ 状況に応じた注水方法について理解する。○ 消防資機材の操作について理解する。○ 火災現場で適切な指揮がとれる。	3
救 助	座学及び実科	<ul style="list-style-type: none">○ 各種災害現場での安全管理について理解する。○ ロープの特性を理解し、状況に応じた結索ができる。○ 積載器具等を用いて、簡易な救出ができる。○ 傷病者に応じた救命処置・搬送ができる。	3

8 資器材・携行品等

- (1) 資機材(ポンプ車又は小型ポンプ、防火服、防火帽)は、日常使い慣れている各市町配備のものを使用する。
ただし、各地域の防災体制等の見地から資機材の持ち込みが出来ない場合は、消防学校の資機材を使用して実施する。
- (2) 携行品は次のとおりとする。
活動服、略帽又はアポロキャップ、保安帽(ヘルメット)、皮手袋、筆記用具、雨衣、運動靴、訓練用編上げ靴又は安全靴、長靴、着替え、昼食

9 教育体制

- (1) 入校消防団の県指導員及び市町指導員の随行を原則とする。
- (2) 消防団に随行する職員は、指導補助及び安全管理にあたる。
- (3) 消防学校指導教官は、訓練項目に応じて1~4名程度とする。
- (4) 県指導員及び市町指導員は、消防学校指導教官の指揮により入校消防団員の補助にあたる。

10 その他

- (1) 入校期間中は、学校規則に従って行動すること。
- (2) 入校日、入校人員等の変更があれば消防学校に連絡すること。
- (3) 入校当日の着替え、休憩は修養室(本館2階)を使用する。
- (4) 訓練後は、シャワーを使用することができる。
- (5) 訓練終了後、消防団員特別教育一日入校訓練結果報告書(別紙様式6)を提出すること。
- (6) 本教育については、修了証書は交付しない。
- (7) 昼食持参を原則とするが、希望者には弁当(600円程度)を斡旋する。
- (8) 昼食持参の場合、出たゴミは持ち帰ること。